

2024年度 ITCカンファレンス

～デジタル経営を実現するための企業変革とは～

2024年11月29日

特定非営利活動法人ITコーディネータ協会

会長 野村 真実

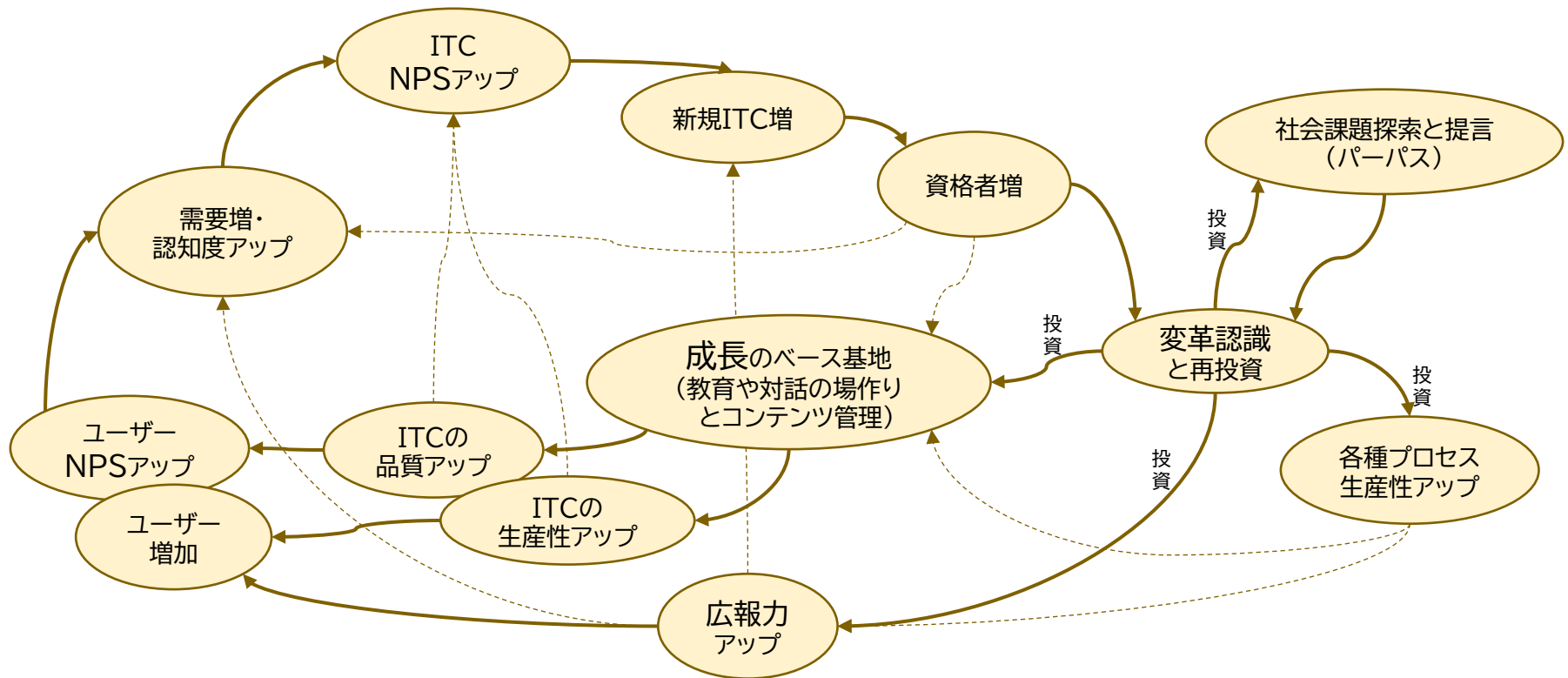
～ITCA経営理念～

ITコーディネータ制度に関わるすべての方々の
物心両面における幸福を追求し、
日本の中小企業・団体が、ITを経営の力として活かし、
発展することに貢献する

～ITCA長期ビジョン～

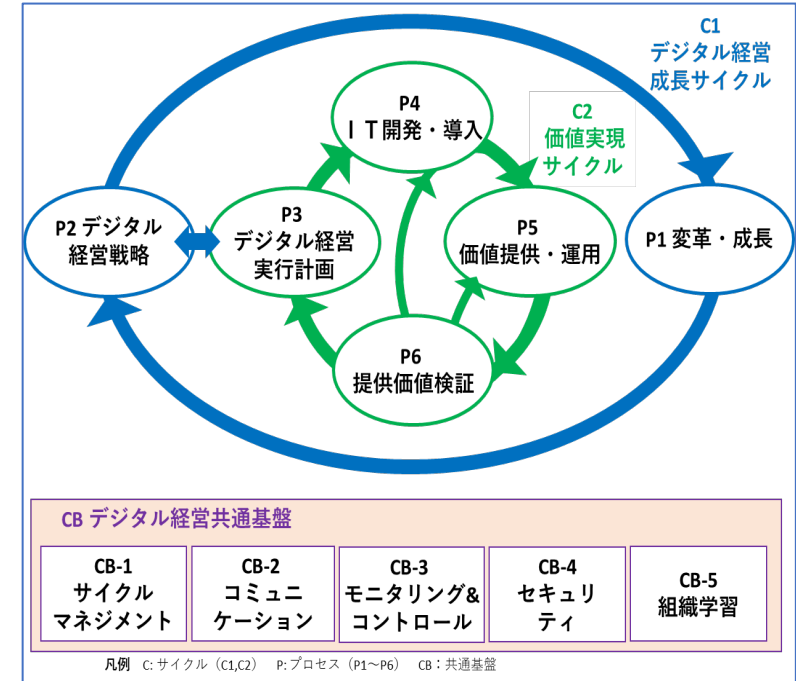
2030年、全国各地でITCの活躍があり、
その存在が多くのステークホルダーに賞賛され、
ITCは1万人となっている

ITCA GROWTH LOOPS since 2023



①学ぶ自由 ②失敗(チャレンジ)する自由 ③つながる自由 を提供するITCAへ

1. サイクルの概念をとり入れた反復型プロセス ※デジタル経営成長サイクルと価値実現サイクル
 - 環境変化に強い反復型のプロセスとサイクルアプローチ
 - 異なる価値実現アプローチに対応する (waterfallやアジャイルなど特定の方式に限定しない)
2. 企業の継続的成長を重視 ※デジタル経営成熟度
 - ビジネスの成熟 + 組織学習、人的資本経営で企業の成長をはかる
3. 価値の創造と実現を全面に
 - デジタル経営の目標を価値実現とする (既存事業、新規事業など)
 - 価値実現検証プロセスを新たに加え、デジタル経営における価値実現の重要性を強調
4. 価値実現の支援機能を重視 ※デジタル経営共通基盤C B
 - デジタル経営の各サイクル、プロセス、アクティビティに関して、共通的な支援機能を提供
5. 登場人物の役割を明確に
 - 経営者、デジタル経営推進者、開発リーダー、運用リーダー、デジタル経営支援者の役割
6. デジタル経営を成功に導く10の基本原則
 - 基本原則10種類で全体をカバー

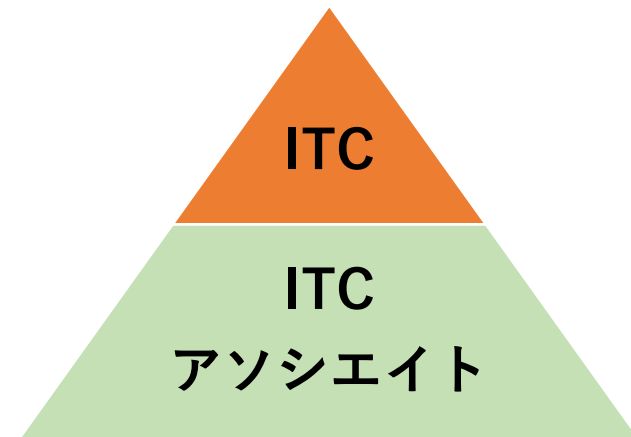


新しいITCエントリー資格を2025年度よりスタート！

◆名称:「ITCアソシエイト」

◆資格概要:

ケース研修でITCプロセスを学び、ビジネスアーキテクト(BA)の基礎知識をおさえ、デジタル経営に関する課題解決の支援プロセスを理解している人材。
ITコーディネータと連携し、中小企業のデジタル経営推進に寄与する。



◆認定方法:

新ケース研修(2025年度～)受講修了で登録可

※登録料2.2万円、毎年 of 更新手続きなし。ただし、年数回のアンケート等に答えるものとする。

※有効登録期間はケース研修受講年度を含めた4年度間(ケース研修同様)。

※また登録期間中にITC試験に合格すると、ITC認定可となる(認定料無料)。

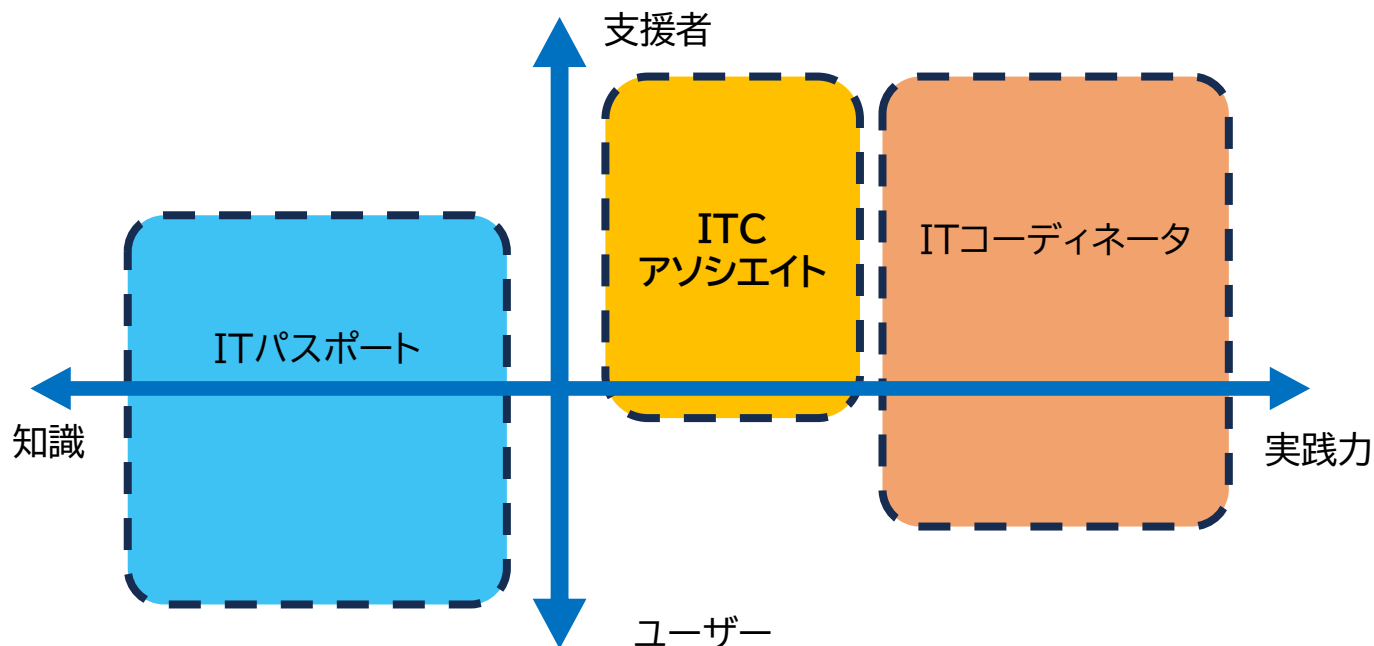
※ITC資格者からの移行も可とする。登録可能期間は現在の“失効制度”に準じて4年間。

※登録期間中に所定の研修(仮称:復帰延長研修8.8万円)を受講すると延長可能(延長料は無料)。

※2024年度までに旧ケース研修を受講した方は、PGL4.0の学習(新ケース研修のPGL4.0学習eラーニング受講を案内)をもって登録可とする。

ITCアソシエイトの役割(ITパスポートとの対比)

ITパスポートは「ITを活用するすべての社会人・学生が備えておくべきITに関する基礎的な知識」と言われています。これに対し、ITCアソシエイトは主に中小企業におけるデジタル経営実践を支援する「支援者」の実践力強化を目指しています。



【経済産業省推進資格 ITコーディネータ】

「デジタル経営とDXを実現するプロフェッショナル」

企業存続と組織の成長のために、変革構想立案からシステム導入・評価改善までを一貫して推進・支援するプロフェッショナル人材です。
デジタル経営を実現するとともに、DXを推進いたします。

様々な経営課題

事業承継・生産性向上
事業連携・取引先連携
新たな事業展開・拡大発展
人材不足、組織変革、等

<ITコーディネータ資格者>
・全国で約7,300名



IT利活用の推進

経営方針とデジタル化指針の提案
IT選定・IT適用・IT利活用
適切な情報化投資と継続支援

<ITコーディネータによる団体・組織>
・全国には約140団体

2024年2月1日「ITコーディネータの日」に開催されるイベント「ITC Synergy Forum(仮称)」のディスカッションテーマを募集しています。

□開催概要

2024年2月1日(土) 13時～17時

- ①オリエンテーション
- ②ディスカッション（各ブレイクアウトルームで10～15テーマほどを想定しています）
- ③発表

□応募締切

2023年12月13日(金)まで

□応募方法

- 1.全国のITCと話したいディスカッションテーマ
- 2.テーマの背景や概要
- 3.ディスカッションの司会可否

対話を通じて思いを共有し、ITコーディネータの未来を共に考えましょう！

2月1日は、「ITコーディネータの日」

みんなで盛り上げてまいりましょう！

ご清聴ありがとうございました